



資料 3

府食第706号
平成26年9月12日

食品安全委員会委員長 熊谷 進 殿

調査・研究企画会議座長 佐藤 洋

平成26年度食品健康影響評価技術研究の3次公募における
採択課題（案）について

このことについて、平成26年9月10日に開催した平成26年度第5回調査・研究企画会議における審議の結果、別添のとおり取りまとめましたので、報告いたします。

(別添)

平成26年度

食品健康影響評価技術研究の3次公募採択
課題(案)について

平成26年9月

食品安全委員会 調査・研究企画会議

平成26年度食品健康影響評価技術研究の3次公募採択課題(案)

受付番号 主任研究者名 (所属機関名)	研究課題名 (研究期間)	研究概要	評点 (20点満点)	評価所見
36 鈴木 規之 (独立行政法人 国立環境研究所)	食品からのアクリルアミド摂取量の統計的推定に関する研究(H26年度)	食品からのアクリルアミド摂取に伴うリスク評価に資するため、食品からのアクリルアミド摂取量の分布を明らかにするための統計的推定を行う。食品の摂取量、食品中のアクリルアミド含量などの情報に基づき、統計シミュレーション手法を中心として、摂取量分布の推定と既存観測値に基づく検証を実施する。	15.8	<p>我が国におけるアクリルアミドのリスク評価を行う上で、摂取量を推定することは重要である。汚染物質の曝露評価、MOE算定するなどリスク評価に資する研究である。</p> <p>加えて、海外における曝露調査の実態について調査を追加的に行うことが有用である。</p> <p>〈個別コメント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非意図的に生成されるアクリルアミドの摂取量の分布の推定は重要な課題である。 ・アクリルアミドの摂取量の分布を検討する研究で重要。質問票等から予測モデルを作成することが望まれる。 ・新規性が不明であるが、既存データの利用によってリスク評価に有用な知見が得られることを期待する。